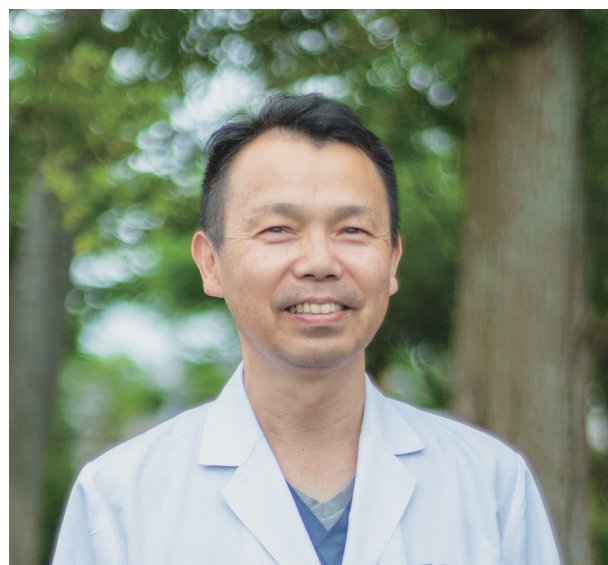


表紙：副病院長
皮膚科学講座 教授 山崎 修



救急・総合診療センター センター長就任のご挨拶

救急・総合診療センター センター長 まきいし てつや
牧石 徹也



このたび、2025年6月1日付で当院、救急・総合診療センターのセンター長を拝命いたしました牧石 徹也と申します。これまで、私の専門である総合診療科の診療を通じて、県内の多くの医療機関の先生方に温かいご支援とご協力を賜ってまいりましたこと、心より御礼申し上げます。

現在、島根県内では高齢化の進行や医療資源の偏在など、地域医療を取り巻く環境は日々複雑化し、現場には柔軟かつ迅速な対応が求められています。そのような中で、当センターには、救急医療と総合診療

の両面から、患者さん一人ひとりの多様なニーズに応える体制の整備が強く求められていると実感しております。初期対応から専門診療への橋渡し、さらには包括的なケアの提供まで、シームレスな医療を実現することが私たちの使命です。

今後は、副センター長の下条 芳秀先生とともに、より質の高い医療の提供はもとより、次世代を担う医療人材の育成にも力を注いでまいります。地域の先生方や医療関係者の皆さまと力を合わせ、連携をいっそう深めながら、地域医療の発展に寄与できるよう努めてまいります。

引き続きのご指導とご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

脳卒中・心臓病等総合支援センター 開設のお知らせ

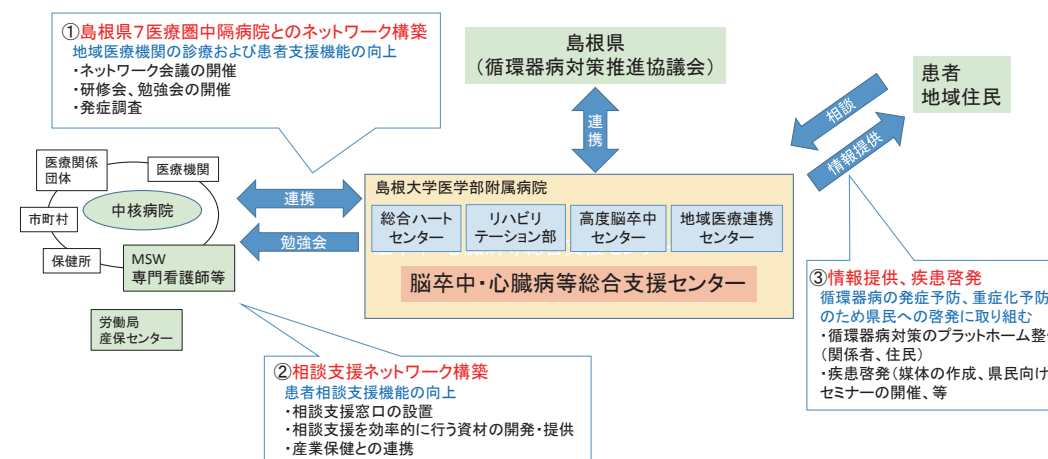
脳卒中・心臓病等総合支援センター センター長 はやし けんたろう
林 健太郎

近年、医療は高度化し、高いレベルの治療が提供できるようになっていますが、治療後のリハビリテーションや生活、復職についての支援も進んできています。すでにがん相談支援センターなどが稼動していますが、脳卒中や心臓病に関しても厚生労働省モデル事業として都道府県の基幹施設に支援センターを開設するプロジェクトが進められています。

この度、島根大学も認可を受け島根県脳卒中・心臓病等総合支援センターを開設することになりました。これまで脳卒中や心臓病はそれぞれに相談窓口があり、支援してきましたが、窓口を一本化し、リハビリテーション部門や緩和ケア部門、地域連携部門と連携してより総合的に支援することを目指しています。患者さんからの相談を受け付けたり、地域に出向いたりして啓発活動する一方、県内の医療機関と連携し、リハビリテーションを続けたり、メディカルスタッフを対象に研究会を開催したりして県内全体のレベルアップを図ります。

現在、専任の医療ソーシャルワーカーを募集しています。どうぞよろしくお願い申し上げます。

島根県脳卒中・心臓病等総合支援センター



問い合わせ先 総合医療学講座 TEL:0853-20-2635

問い合わせ先 脳神経外科医局 TEL:0853-20-2245



島大病院ニュース 2025年7月

ご報告

新入生向け研究室紹介・見学会を開催 — 研究心(リサーチマインド)育成に向けた第一歩 —

生化学講座代謝生化学 教授 みやぎ さとる
宮城 聡

島根大学医学部医学科では、「研究心(リサーチマインド)を持って、真理を探究し、未知の分野を切り拓こうとすることができる」を、卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)の一つに掲げています。しかし、医学科のカリキュラムは非常に多忙であり、学生が研究に取り組む時間的余裕が限られているのが現状です。

こうした課題を踏まえ、本学では研究への関心を高め、研究志向の学生に早期から研究の機会を提供することを目的に、4月3日(木)、新入生を対象とした「研究室紹介・見学会」を開催しました。

当日は、基礎講座の教員10名による研究内容のプレゼンテーションに加え、各講座で研究を行っている4年生有志による相談会も実施しました。新入生オリエンテーション直後の開催にもかかわらず、66名の新入生が参加し、研究への関心の高さがうかがえました。

その後、アンケート結果をもとに研究室見学を実施し、現在では数名の1年生が基礎講座にて研究活動を開始しています。写真は、実験に取り組む学生の様子です。今年度は基礎講座を中心とした取り組みでしたが、来年度は臨床講座にも対象を広げ、より多くの学生に研究の魅力を伝える機会を提供したいと考えています。

この取り組みを通じて、一人でも多くのリサーチマインドを持った臨床家が育つことを願っています。最後になりましたが、企画段階からお手伝いいただいた4年生有志に感謝いたします。

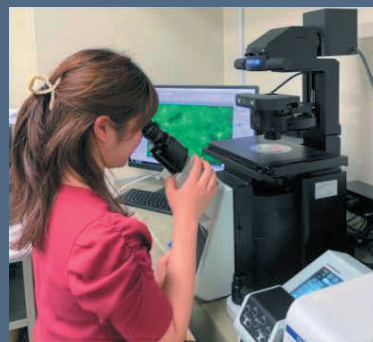
実験に取り組む医学科1年生



泰田ひなたさん



竹本菜奈さん



清水春花さん

問合せ先 生化学講座代謝生化学 TEL: 0853-20-2121



島大病院ニュース 2025年7月

お知らせ

精神科薬物療法認定薬剤師さんって、 御存知ですか？

精神科神経科 助教 ながはま みちはる
長濱 道治

突然ですが、みなさんは、薬剤師の中で、精神科薬物療法認定薬剤師という資格をもっている薬剤師がおられることを御存知でしょうか？

精神科薬物療法認定薬剤師は、精神疾患に対する薬物療法について高度な知識・スキルを身に付けた薬剤師のことで、精神疾患に対する薬物療法のプロフェッショナルです。当院には2名の精神科薬物療法認定薬剤師がおります。

精神疾患をお持ちの患者さんに対して薬物療法を開始するにあたり、それぞれの患者さんに合わせて最適なお薬を提案し、処方したお薬によって副作用が生じていないかどうかを管理することが重要となってきます。

精神科薬物療法認定薬剤師は、こうした薬物療法における薬効と副作用のバランスをチェックし、時には、精神科医師に対して助言をすることもあり、適正使用が求められている精神科の薬物療法において、大きな支えとなっています。精神を安定させる(向精神薬)は、精神科のみならず、多くの診療科で処方されているため、精神科薬物療法認定薬剤師の活躍の場は、精神科だけにとどまらず、多くの診療科にわたっています。

当院では、精神科薬物療法認定薬剤師が、精神科のカンファレンスに参加し、治療薬に関する情報提供や助言をしたり、精神科リエゾンチームの一員として精神科以外の診療科病棟に赴き、メディカルスタッフに対して薬剤の情報提供や助言をしています。

このように精神科薬物療法認定薬剤師は、精神科医療チームの一員として、大きな役割を担っています。当院には、こうした精神科薬物療法のプロフェッショナルが在籍していることを知っていただければ幸いです。



病院長賞受賞時の記念写真
前列右より 曾田重人 精神科薬物療法認定薬剤師、筆者

問合せ先 精神医学講座 事務室 TEL: 0853-20-2262



2025年7月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



2025年7月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2025年7月

ご報告



「看護の日」のイベントを開催しました

看護部長 かわかみ としえ
川上 利枝

5月12日は「看護の日」です。看護の日の制定は、高齢社会を支えていくために、「ケアの心」「看護の心」「助け合いの心」の3つの心を一人ひとりが分かち合い、社会全体で育むきっかけとなるよう、近代看護を築いたフロレンス・ナイチンゲールの誕生日にちなみ、1990年に旧厚生省により制定されました。

当院看護部でも、「看護の日」にあわせて、今年度は5月15日(木)に『健康講座』と『ハンドマッサージ』のイベントを開催しました。『健康講座』では、「長く元気に過ごすコツ」について、大矢菜穂子副看護師長(慢性心不全看護認定看護師)、石川万里子副看護師長(骨粗鬆症マネージャー)により、減塩と血圧の関係やカルシウムを摂ることの重要性について、次に「長く元気に過ごす食事のポイント」について、阿部寿子管理栄養士(心不全療養指導士)から、クイズを交えて減塩と健康の関係や、レシピを教えていただきました(写真1)。多くの方にご参加いただき、参加された外来患者さんやご家族の方々から質問も多数あり、関心を集める内容となりました。

『ハンドマッサージ』では、アロマオイル4種類を準備し、好みの香りをういマッサージを行いました(写真2)。マッサージ後は、「頑張った治療のご褒美です」などのお言葉をいただき、患者さん、ご家族が治療に向きあってこられたこれまでの思いをお聞きする良い時間となりました。

「看護の日」の発信により、地域の方々の看護や健康への関心を高めていただけるきっかけになれば幸いです。



管理栄養士(心不全療養指導士)による健康講座



ハンドマッサージの様子

問合せ先 看護管理室 TEL : 0853-20-2478



2025年7月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2025年7月

ご報告



C病棟6階(小児病棟) 看護師長 かげやま みほこ
病棟保育士(ホスピタルプレイスペシャリスト) 陰山 美保子
つばき あつみ
椿 敦美

毎年恒例となった「こどもの日の花火」が今年も5月5日(月)に開催されました。

「入院している子どもたちにもこどもの日を楽しんで欲しい」と、出雲市大社町在住の花火師 多々納恒宏さんのボランティア団体「こどもの日花火の会」によるイベントです。

天候に恵まれ、神戸川中州より打ち上げられる花火を小児病棟のプレイルームや病室、多目的ルームより見ることができました。夜空は250発もの美しい花火で彩られました。真正面から見る花火は打ち上がる音にも迫力があり、花火が上がるたびに「わあ、上がった!」「きれーい。」「あの花火、ニコちゃんだ!」など歓声が沸いていました。

小さい子どもたちは興味深そうに、じーっと花火を見ていました。手術後で活動に制限がある子、治療のため点滴中の子もご家族と一緒に楽しむ姿がありました。

入院生活は、社会的な孤立状態を感じやすく、子ども達にとっての行事は、社会とのつながりや季節を感じる大変貴重なものです。花火終了時、花火師さん達の手にされた懐中電灯のくるくる廻される合図の赤い光りも暗闇に映えていて、とても温かみを感じられるものでした。病棟より「ありがとう」の子ども達の歓声が届いたことでしょう。

来年もみんなで賑やかに花火が鑑賞できますように・・・。



問合せ先 小児病棟 TEL : 0853-20-2616



2025年7月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2025年7月

ご報告

外来編

患者満足度アンケートの自由記載欄に寄せられた声から読み解く 高評価の背景と改善の手がかり

患者満足度向上WG
医療情報部 准教授 かわむら としひこ
河村 敏彦

2024 年度に実施した外来患者満足度アンケートでは、満足度スコアは 85.44 点と、過去 3 年で最も高い水準でした。医師・看護師の対応に関する設問では、95%以上が「非常に満足」または「満足」と回答するなど、高い評価が確認されています。一方、自由記載欄には計 87 件のご意見が寄せられ、そのうち 78%にあたる 68 件が不満や要望に関する内容でした。ここでは寄せられた声を読み解き、外来における課題と今後の改善の方向性を探っていきます。

特に目立ったのは、「診療や会計の待ち時間」に対するご指摘でした。「予約時間を過ぎてても呼ばれない」「診察後の会計に時間がかかる」といった声が多く見られました。こうした課題に対して、当院ではクレジットカードによる後払いシステムを導入しており、会計窓口での混雑緩和を図っています（写真）。現在の利用率は約 1 割程度にとどまっていますが、今後は案内の周知強化と利用の促進に取り組む予定です。

また、「Wi-Fi 環境」に関するご意見も複数寄せられました。「付き添い中にネットが使えない」「通信が不安定でストレスを感じた」など、待ち時間の過ごし方に関わる不便さが指摘されています。これを受けて、2025 年 5 月より Wi-Fi エリアの拡充と通信環境の改善を段階的に進めています。そのほか、「駐車場が満車で停められない」「案内表示がわかりにくい」といった、施設管理や外来導線に関する不満の声も散見されました。これらは患者さんの来院時のストレスや不便さに関わる部分であり、小さな負担が全体の満足度に影響を及ぼしていることがうかがえます。

当院では、一つひとつの声を軽視せず、外来運営を見直す大切な「手がかり」として真摯に受け止めています。今後も、患者さんが安心して快適に受診いただける外来環境の実現に向けて、改善を積み重ねてまいります。

問合せ先 医療サービス課 TEL：0853-20-2067



後払いクレジットサービス（待たずにラクへだ）
会計手続きの混雑を緩和する目的で、2022 年 9 月より導入。
スムーズな会計を実現する手段として、さらなる周知と利用を促進しています。



島大病院ニュース 2025年7月

ご報告

入院編

患者満足度アンケートの自由記載欄に寄せられた声から読み解く 高評価の背景と改善の手がかり

患者満足度向上WG
医療情報部 准教授 かわむら としひこ
河村 敏彦

2024 年度の入院患者満足度は 89.81 点と高く、医師・看護師・職員の対応には 95%以上が「満足」と回答するなど、全体的に高い評価が示されました。一方で、自由記載欄には計 609 件のご意見が寄せられ、「お褒めの言葉」が 342 件、「不満・要望」が 267 件と、肯定的な内容は全体の約 56%を占めました。これらをテキストマイニングにより分析することで、患者さんが入院生活において何に安心を感じ、どこに改善を求めているのかがより明確になりました。

お褒めのコメントでは、「医師」や「看護師」に関する記述が多く見られ、「対応」「安心」「優しい」「親切」「丁寧」「笑顔」といった語とともに頻出しました。これは日々の接遇や説明が、入院中の心理的な支えとして強く印象に残っていることを示しています。

【患者さんの声：お褒め言葉】

「看護師さんの対応がとても良く、話しやすくて安心できた。伝えたことが医師にもきちんと共有され、説明も丁寧で信頼できた。」（60 代女性）
「激務にもかかわらず、わかりやすく、優しく、丁寧に接して頂き、深く感謝しています。」（70 代男性）

一方で、「部屋」「音」「トイレ」「食事」といったワードが不満・要望のコメントから多く抽出され、生活環境や設備面への具体的な改善希望が目立ちました。特に「夜間の音で眠れなかった」といった声に加え、「食事の選択方法が十分に伝わっていなかった」とする意見も見られ、入院初期の情報提供のあり方が課題として浮かび上がりました。

【患者さんの声：不満・要望】

「夜間の対応がもう少し静かであればよかった。寝ていても大きな声で目が覚め、その後眠れなくなった。」（80 代女性）
「入院したばかりで食事のシステムがわからず、朝にご飯かパンかを選べることを教えてもらえなかったのが残念でした。」（20 代女性）

当院では、こうした「患者さんの声」を単なる感想としてではなく大切な気づきとして受け止め、今後も丁寧に読み解きながら、環境や接遇の改善に活かしてまいります。

問合せ先 医療サービス課 TEL：0853-20-2067





島大病院ニュース 2025年7月

ご報告



市民フォーラム in 松江 ～安心して暮らすための救急医療の知識～を開催しました

総務課企画調査係

6月8日(日)、島根県民会館において「救急医療」をテーマに市民フォーラムを開催しました。まず、地域小児救命救急センター長・竹谷健教授が、小児のけいれんなど緊急時の対応や、県内の小児救急体制について説明し、「#8000」や「子どもの救急」サイトの活用を呼びかけました。

次に、高度脳卒中センター長・林健太郎教授が、脳卒中の診療体制や SCU(脳卒中専用集中治療室)でのケア、他院との連携について説明し、tPA 治療のためには発症から3.5 時間以内の受診が必要だと強調しました。

循環器内科・田邊一明教授は、心筋梗塞の致死率や治療開始までのリミット(6 時間以内)、胸痛などの症状を紹介し、脳卒中と同様に、糖尿病・喫煙・高血圧・動脈硬化の予防が重要だと述べました。

質疑応答では、「救急車で病院を指定できるか」「脳梗塞は遺伝するか」といった質問や、救急搬送された子どもが今は元気にやっているとの参加者からの感謝も伝えられました。

最後に椎名病院長より、大学病院の現状と地域医療における当院の役割について紹介しました。

松江での開催は3 年ぶりでしたが、100 名を超える来場があり、今後の定期開催を望む声が多く寄せられています。

次回は8 月24 日(日)に医学部出雲キャンパスにおいて、「脳」をテーマに開催予定です。

問合せ先 総務課企画調査係 TEL : 0853-20-2531



2025年7月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2025年7月

お知らせ



病院を探検しながらスタンプを集めて 手術を乗り越えよう!

病棟保育士(ホスピタルプレイスペシャリスト)

C病棟6階(小児病棟) 看護師長

小児科長

つばき あつみ
椿 敦美
かげやま みほこ
陰山 美保子
たけたに たけし
竹谷 健

手術を受けるお子さんやそのご家族は、不安や緊張を抱えることが少なくありません。そこで私たちは、少しでも安心して手術に臨めるよう、「病院を探検しながらスタンプを集めて手術を乗り越えよう!」というスタンプラリーを実施しています。今回、このスタンプラリーをより楽しく、わかりやすくするために、院内の案内に工夫を加えました。

まず、お子さんが迷わず進めるよう、スタンプラリーの経路に沿って壁に目印のシールを貼りました。各診療科には可愛い動物のイラストを掲示し、楽しみながら回れるようにしています。また、放射線部受付の横にある鉄の扉には、手術までの流れがひと目でわかる案内図を掲示しました。この案内図は、島根大学大学院建築デザイン学コースの学生の協力により制作されたものです。

こうした工夫によって、お子さん自身が病院を探検するように各場所を訪れ、自分から手術に向かう気持ちが育まれることを期待しています。今後も、子どもたちとご家族が少しでも安心して過ごせるような、やさしく温かい病院環境づくりを目指してまいります。



問合せ先 小児病棟 TEL : 0853-20-2616



2025年7月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL : 0853-20-2068 FAX : 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ

<https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース 2025年7月

お知らせ

臨床遺伝・ゲノム医療センターが移転しました！

臨床遺伝・ゲノム医療センター センター長 やまもと ひろまさ
山本 寛斉
副看護師長 あらき こ
荒木 もも子

「臨床遺伝診療部」と「がんゲノム医療センター」を統合し、2024年2月に発足した臨床遺伝・ゲノム医療センターが、このたび一体的な運用を目的に外来棟3階に移転いたしました。これまで小児科外来内に配置されていた「遺伝カウンセリング外来」と、腫瘍内科外来をお借りして診療していた「がんゲノム医療外来」が、それぞれ新たに診察室を構え、より専門的で包括的な医療体制を構築いたします。

「遺伝カウンセリング外来」では、年間600件近くの周産期、小児、難病、腫瘍、循環器、神経など多様な遺伝に関するカウンセリングに対応しています。一方、「がんゲノム医療外来」では、がん遺伝子パネル検査を希望される患者さんが安心して検査を受けられるように、そして検査後に提案された治療、特に治験への参加に向けて、サポート体制を整えています。

当センターでは、専任医師や認定遺伝カウンセラー、臨床検査技師、看護師、医師・病院クラークなど多職種が連携し、患者さん一人ひとりに最適な医療の提供につなげていくことと、長期的な心理・社会的サポートにも力を入れていきたいと思ひます。

今後も各診療科や関連部門と密に連携し、島根県の遺伝・ゲノム医療の水準の向上と均てん化に貢献していく所存です。



臨床遺伝・ゲノム医療センターHP
<https://shimane-ccggm.jp/>

問合わせ先 臨床遺伝・ゲノム医療センター 外線 TEL：0853-88-3053



お知らせ
島大病院ニュース

2025年7月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース 2025年7月

お知らせ



技術認定医取得による低侵襲手術体制の強化

消化器外科 講師 まつばら たけし
松原 毅

このたび当院消化器外科の松原毅講師が、日本内視鏡外科学会技術認定制度（胃領域）の認定試験に合格し、技術認定医を取得しました。全国合格率は約30%と高難度を誇り、症例経験や学術業績、手術ビデオ審査などの厳格な評価をクリアした成果です。個人の高度な技術力のみならず、手術チーム全体の安全管理体制と連携力が認められたものであり、当科の手術安全性の証明となりました。

当科では、胃がん症例のほぼ全例を腹腔鏡下手術またはロボット支援下手術という低侵襲アプローチで施行し、術後合併症の軽減、早期離床、入院期間の短縮を実現しています。特にダ・ヴィンチXiを用いた高精度なロボット支援手術を中心に、微細操作による安全かつ確実なリンパ郭清と再建を行い、患者さんへの負担軽減に大きく貢献しております。

現在、当科は食道・胃、大腸、肝胆膵の各グループに技術認定医を有し、チーム医療を通じた質の高い低侵襲手術体制を整えています。本認定取得を契機に、今後も地域の開業医の先生方との連携を強化し、最新の低侵襲外科治療をご提供できる体制を拡充してまいります。当科に関する疾患でお困りの患者さんがいらっしゃいましたら、ぜひご紹介くださいますようお願いいたします。



問合わせ先

消化器外科医局 TEL：0853-20-2232

☒ 松原 毅講師 (nanadai@med.shimane-u.ac.jp)

お知らせ
島大病院ニュース

2025年7月 発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問 合 せ 先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課
TEL：0853-20-2068 FAX：0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <https://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

